

日本ウマ科学会 2021年度 第2回常任理事会議事録

日 時：2021年3月8日（月）13：30～15：00

場 所：オンライン開催（ZOOM Web 会議システム）

出席者： 田谷 一善 副会長

和田 信也 副会長

高橋 敏之 庶務担当常任理事

半澤 恵 会計担当常任理事

楠瀬 良 編集担当常任理事

近藤 高志 学術担当常任理事

桑原 正貴 国際担当常任理事

和田 隆一 広報担当常任理事

佐々木 直樹 臨床担当常任理事

小野 圭一 事務局長

欠席者： 青木 修 会長

議題：

1. 第33回学術集会開催報告・・・・・・・・・・・・・・・・（近藤・事務局）
2. 2021年活動計画について・・・・・・・・・・・・・・・・（高橋・事務局）
3. 役員の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・（高橋・事務局）
4. 第34回学術集会予定・・・・・・・・・・・・・・・・（近藤・事務局）
5. その他
 - 1) 第2回認定馬臨床獣医師認定試験について・・・・・・・・（佐々木）
 - 2) 臨床委員会企画の準備状況・・・・・・・・・・・・・・・・（佐々木）
 - 3) 学会賞・奨励賞・功労賞の選考について・・・・・・・・（近藤）
 - 4) 慶弔規程の制定について・・・・・・・・・・・・・・・・（事務局）
 - 5) ウマ用語集改定について・・・・・・・・・・・・・・・・（楠瀬・事務局）

議事概要：

議題1. 第33回学術集会開催報告

- 事務局が、11月30日（月）～12月10日（木）にホームページの特設サイトで初めてオンデマンド開催された学術集会の内容を資料に基づき報告した。
- 開始日の11月30日は、延べ380件の閲覧があり、期間を通じて1日あたり平均170件程度の閲覧があったと報告した。

議題2. 2021年活動計画について

- 2021年の活動計画について事務局が説明した。第3回常任理事会の開催について

は、オリンピックが開催されるため7月中旬に開催の方向。学術集会の開催に関する協議が必要な場合、9月に臨時の常任理事会を開催し検討することとなった。

議題3. 役員の変更について

- 事務局が JRA の定期人事異動に伴う理事および評議員の変更を報告した。併せて、各種委員会のうち学術委員会において、額田委員と守山委員に代わり上野委員と関委員が新任されることを報告した。佐々木臨床担当常任理事より、臨床委員会については神谷委員から眞下委員へ変更されることが報告された。
- 事務局から役員の任期は2年で、役員改選が次回の総会で議決されるため、第3回の常任理事会で人選を進める必要があることを連絡した。

議題4. 第34回学術集会予定

- 第34回の学術集会の開催方法について、事務局から例年実施のプラン1、前回実施したオンデマンド開催をプラン5として分類し、プラン2はプラン1において海外招聘ができない場合を設定、プラン3はプラン2の内容で同時配信するハイブリッド開催、プラン4はプラン3から内容を絞って会場使用を1日とし、残りをオンデマンドで開催するというもの。それぞれのメリットと、デメリットや問題点を事務局が説明。検討事項ごとに問題点を確認した。
- 事務局から会場キャンセル料について、第33回を開催するにあたって支払った金額をもとに、第34回の会場をキャンセルした場合の手数料とその割合、最近の新型コロナウイルス感染症の推移から、集合型を中止する判断については第33回に比べて第34回の方が早期に決断できない可能性があることを説明した。また、同規模の会場を開催直前に借りることは難しく、キャンセル料を払う可能性があっても事前に予約が必要であることを伝えた。
- 佐々木臨床担当常任理事は、海外からの招待講演のための来日は難しいと考えるので、オンデマンドで行いたいと連絡した。臨床委員会の中で議論し、早々に結論を報告することになった。
- 企業展示については会場キャンセル料の問題等の問題があることから、特設サイトの企業バナーやCM動画をオンデマンドで閲覧可能にすることで協賛を依頼することが提案された。
- 収容人数について、過去の参加者数から100%収容であれば問題ないが、収容制限が生じた場合、会場参加者をどのように決定するか問題提起された。事務局から、先着順であれば年会費の納付書送付時に学会参加費の納付書を同封し、事前申込してもらうことで入金先着順で対応可能と回答した。
- ハイブリッド型で実施する場合、撮影費が1日当たり100万円程度必要であることが説明された。オンデマンド型のプラン5においても同程度の撮影費は必要であることも説明された。
- 近藤学術担当常任理事より、シンポジウムについてはオリンピックの実施可否によ

って内容を検討する必要があると説明された。

- 会場キャンセル費用のリスクや収容人員、撮影費等を総合的に検討した結果、ハイブリッド開催を1日実施するプラン4と、すべてオンデマンド型のプラン5のいずれかで準備を進めることとした。

議題5

1) 第2回認定馬臨床獣医師認定試験について

- 佐々木臨床担当常任理事より、試験の日時を2021年11月22日(月)に変更して予定しているKFC Hallもしくは他の会議室の準備を事務局に要望があった。また、現在予定しているスケジュールリングで試験の準備が進められることが申し添えられた。

2) 臨床委員会企画の準備状況

- 佐々木臨床担当常任理事より、症例検討会のパネリストは選定されており、海外招聘が難しいことからオンデマンドで実施できるように調整すると説明があった。
- JBBAの研修事業と調整し、馬産地の獣医師および牧場関係者に広く普及できるような方法を検討するという説明があった。

3) 学会賞・奨励賞・功労賞の選考について

- 近藤学術担当常任理事より、現在、奨励賞の推薦状1通が事務局に提出されていることが説明された。各賞の推薦理由書の締め切りは5月末日であり、他の推薦を待つて選考を行うことが伝えられた。

4) 慶弔規程の制定について

- 先日、名誉会長及び名誉会員の訃報があり、事務局が対応したことを報告。その際、慶弔規程がなく、対応の基準を制定するために他の規程を参考に今回事務局が案を作成し提案した。一部、語句の修正を行うこと以外の意見はなかったため修正のうえ、慶弔規程を制定することとなった。

5) ウマ用語集改訂について

- 事務局よりウマ用語集の配布状況とその残部数、第2版を増刷した際の版が存在することが報告された。
- 楠瀬編集担当常任理事より、20年余り経過しており、新たに編集を依頼し改訂を検討するが、それには数年必要という旨が説明された。そのため、数年間配布する冊数を増刷することが決定した。

(15:00 終了)